

鋁工業指數參考図表集
(2019年12月速報)

2020年1月31日

經濟解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

2019年12月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

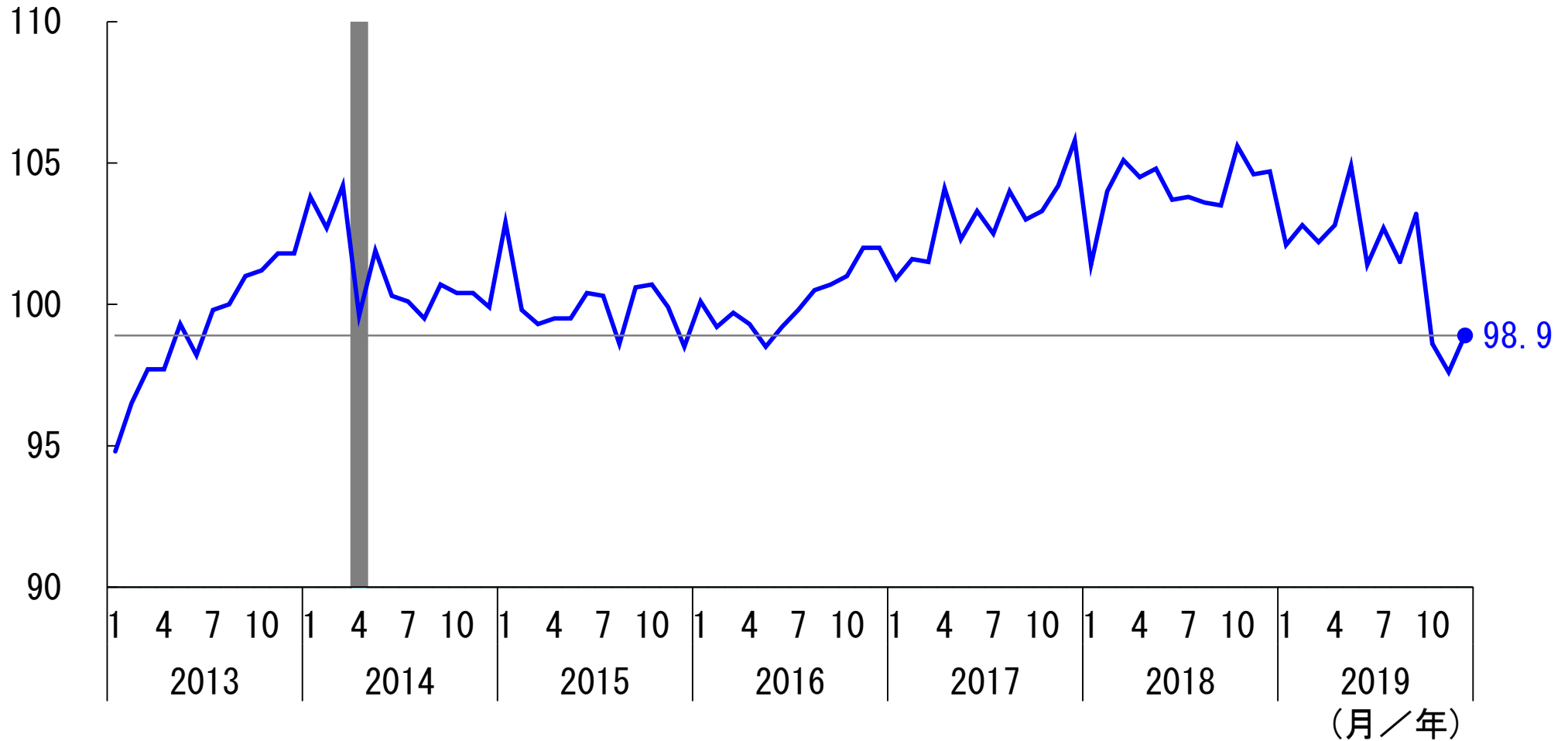
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	98.9	96.4	105.0	136.0
前月比	1.3%	0.0%	1.6%	17.3%
指数水準	2019.9 103.2以来 I 2017.12 105.8 II 2018.10 105.6 III 2018.3 105.1	2015年基準最低水準 (2019.11 96.4以来)	2015年基準最高水準 I 2019.12 105.0 II 2019.6 104.7 III 2019.7 104.5	2015年基準最高水準 I 2019.12 136.0 II 2019.11 115.9 III 2019.10 113.4
前月比の動き	3か月ぶり+ (2019.9以来)	—	2か月ぶり+ (2019.10以来)	3か月連続+ (2019.10～当月)
前月比幅	2019.9 1.7%以来 I 2015.1 3.0% II 2017.4, 2018.2 2.6% III 2014.5 2.3%	—	2018.3 2.6%以来 I 2017.10 2.9% II 2018.3 2.6% III 2014.5 2.4%	2015年基準最高水準 I 2019.12 17.3% II 2014.4 7.4% III 2019.10 4.6%
前年同月比(原指数)	-3.0%(101.5)	-3.7%(100.7)	2.1%(102.6)	23.6%(127.4)
前年同月比の動き	3か月連続- (2019.10～当月)	3か月連続- (2019.10～当月)	14か月連続+ (2018.11～当月)	13か月連続+ (2018.12～当月)
前年同月比幅	2019.11 -8.2%以来 ①2019.11 -8.2% ②2019.10 -7.7% ③2015.5 -5.1%	2019.11 -7.7%以来 ①2019.11 -7.7% ②2019.10 -7.3% ③2014.11 -5.3%	2019.10 2.6%以来 I 2014.11 7.0% II 2014.12 5.9% III 2014.8 5.5%	2015年基準最高水準 I 2019.12 23.6% II 2014.11 13.2% III 2019.11 12.2%

1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数の動向

・ 2019年12月の鋳工業生産指数は、98.9(前月比1.3%)と3か月ぶりの上昇。

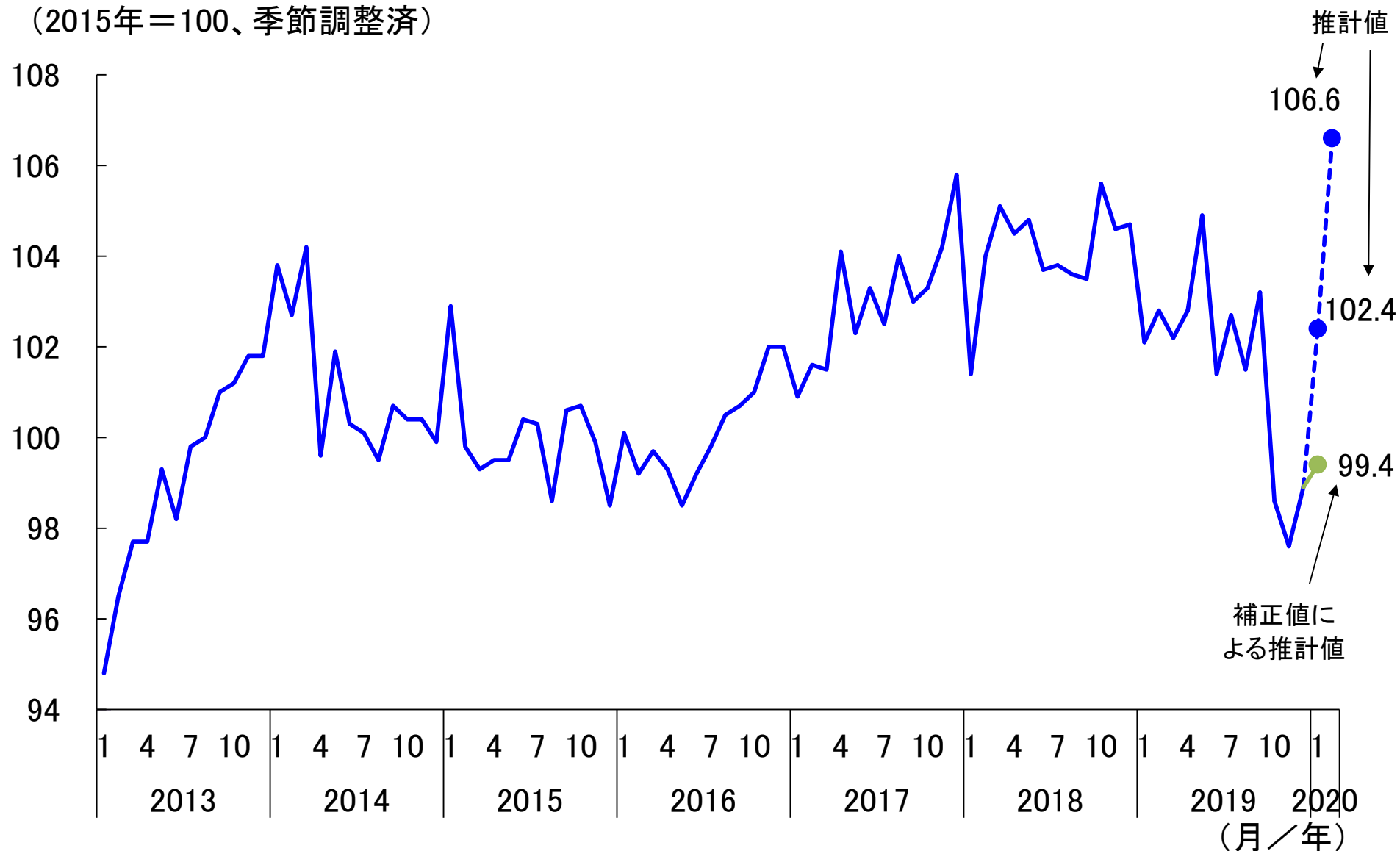
(2015年=100、季節調整済)



(注)1. 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2015年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。
2. 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

製造工業生産予測調査の前月比で鉱工業指数（季節調整値）を延長

(2015年=100、季節調整済)



(注)補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鉱工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したものです。

2019年12月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っ張った3業種の中で 上昇への影響度が大きい 2品目	1位の業種	生産用機械工業	15.9%	83.9%
	品目	半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置	24.8%	37.5%
		建設・鉱山機械	33.8%	19.6%
	2位の業種	汎用・業務用機械工業	6.5%	34.7%
	品目	ボイラ・原動機	54.6%	31.5%
		運搬装置	25.3%	15.6%
3位の業種	電子部品・デバイス工業	3.3%	14.7%	
品目	集積回路	9.4%	18.3%	
	電子デバイス	0.9%	0.6%	
鉱工業生産を低下方向へ引っ張った3業種の中で 低下への影響度が大きい 2品目	1位の業種	自動車工業	-4.3%	-52.3%
	品目	乗用車	-7.1%	-41.9%
		車体・自動車部品	-3.3%	-15.5%
	2位の業種	輸送機械工業（除. 自動車工業）	-3.3%	-6.4%
	品目	航空機部品	-11.8%	-8.9%
		船舶・同機関	-0.2%	-0.2%
3位の業種	窯業・土石製品工業	-2.3%	-5.4%	
品目	陶磁器・同関連製品	-3.5%	-2.2%	
	ガラス・同製品	-2.9%	-1.9%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

2019年12月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置	24.8%	37.5%
	2位	ボイラ・原動機	54.6%	31.5%
	3位	建設・鉱山機械	33.8%	19.6%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	-7.1%	-41.9%
	2位	車体・自動車部品	-3.3%	-15.5%
	3位	航空機部品	-11.8%	-8.9%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送用)	13.3%	129.5%
		一般用蒸気タービン	2030.0%	28.5%
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	142.3%	28.4%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	1.5%	20.7%
		石けん類	22.6%	3.6%
		乳液・化粧品類	4.0%	3.1%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-0.4%	-1.8%
		エレベータ	-7.3%	-2.3%
		アルミニウム製建具	-4.2%	-1.7%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-1.0%	-38.0%
		航空機用機体部品	-26.8%	-11.8%
		自動車用エンジン	-5.0%	-6.3%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-6.3%	-43.4%
		普通乗用車	-6.3%	-24.9%
		小型乗用車	-7.8%	-6.4%

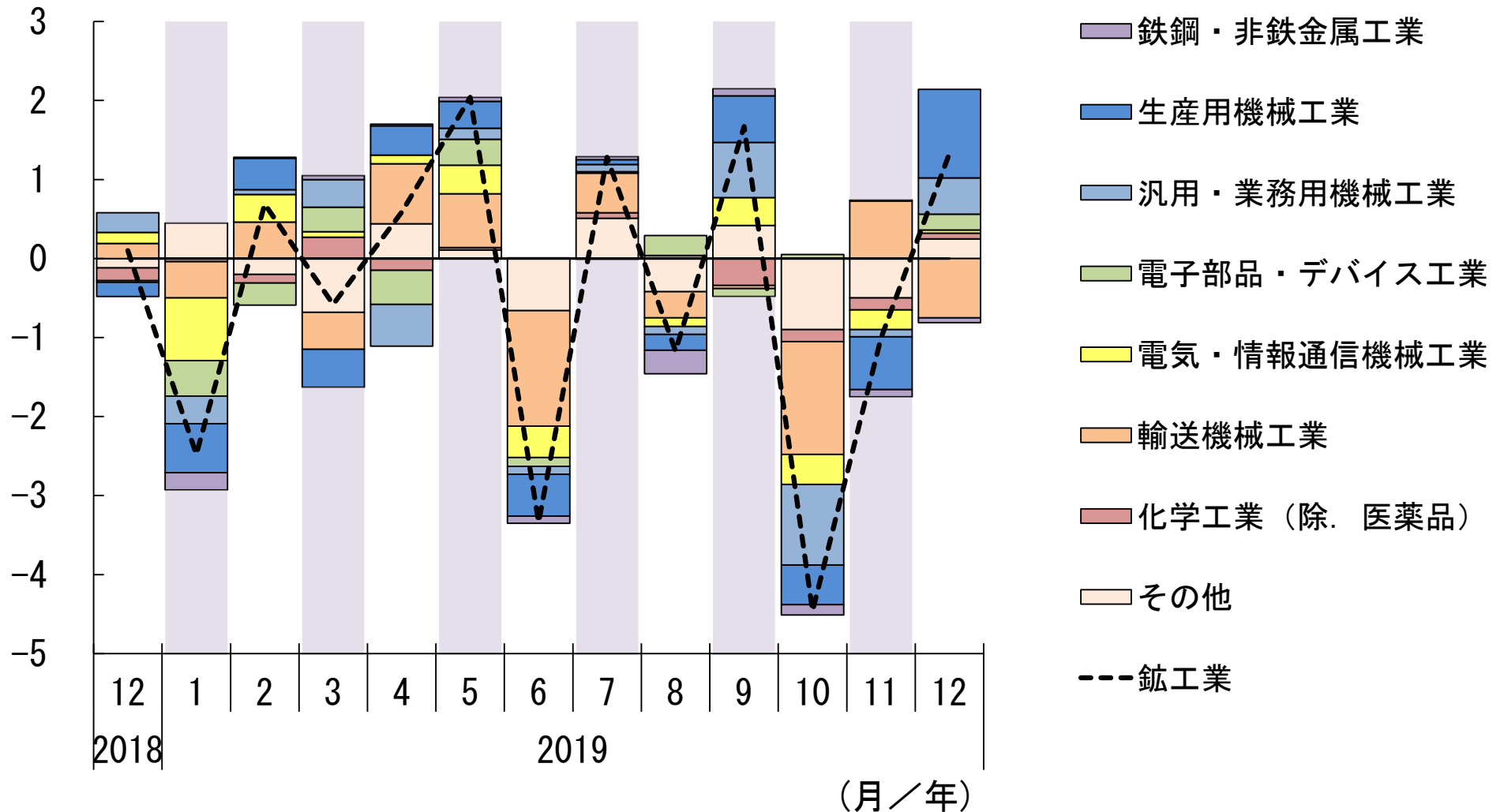
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

- 2019年12月の生産指数は、輸送機械工業などが低下したものの、生産用機械工業などが上昇したため、前月比1.3%の上昇。

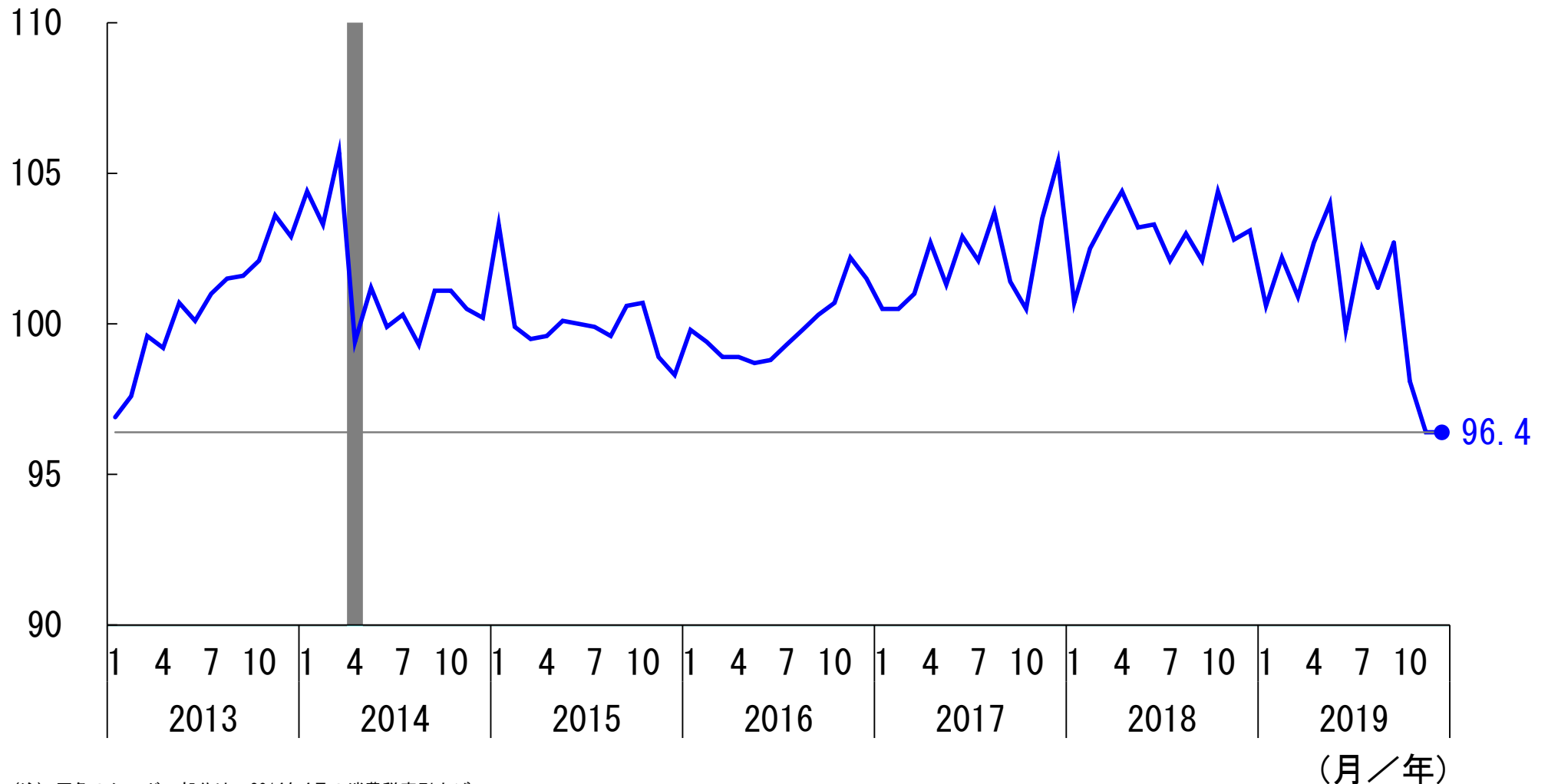
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鉍工業出荷指数の動向

・ 2019年12月の鉍工業出荷指数は、96.4(前月比0.0%)と横ばい。

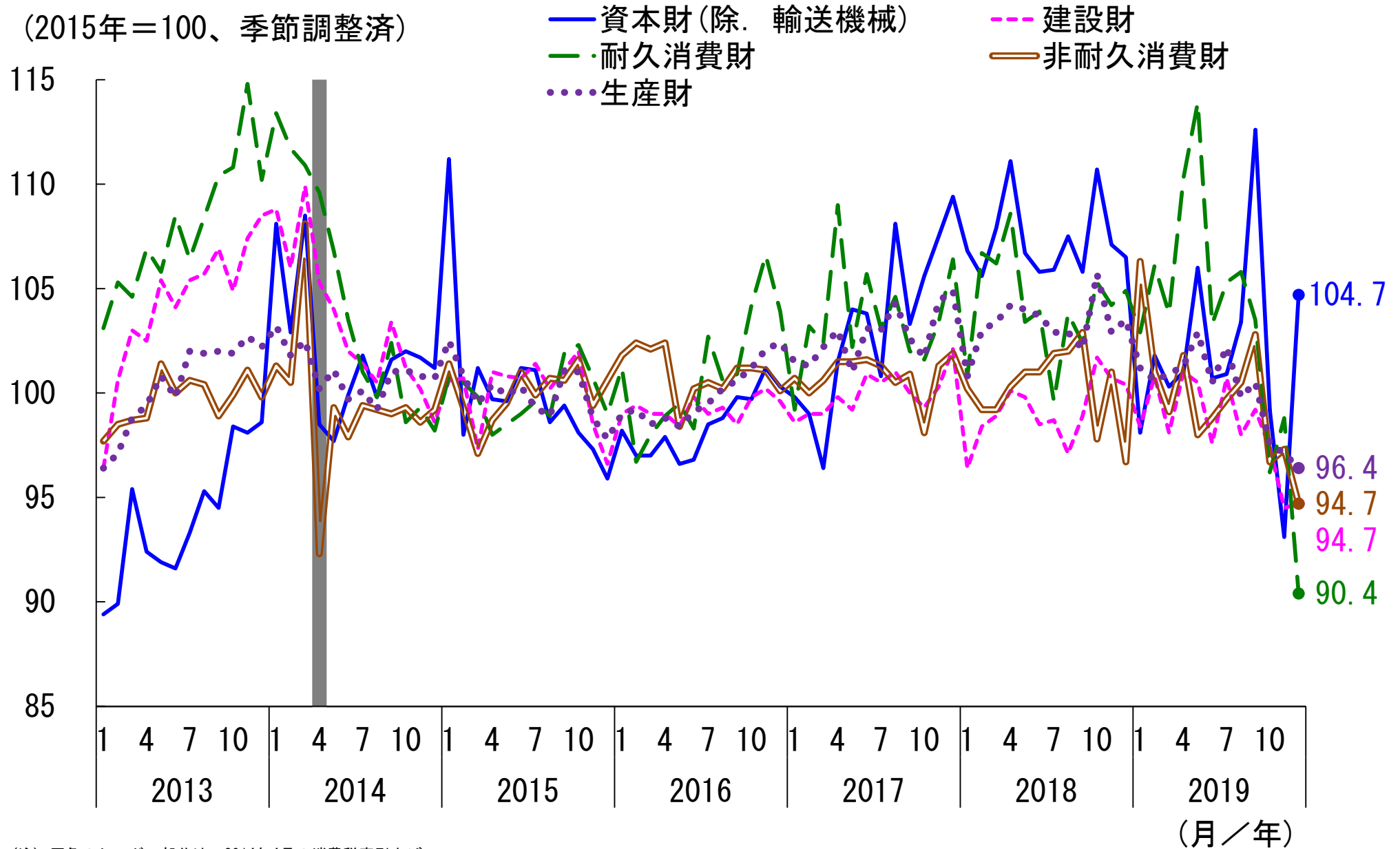
(2015年=100、季節調整済)



(注) 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

財別出荷指数の動向

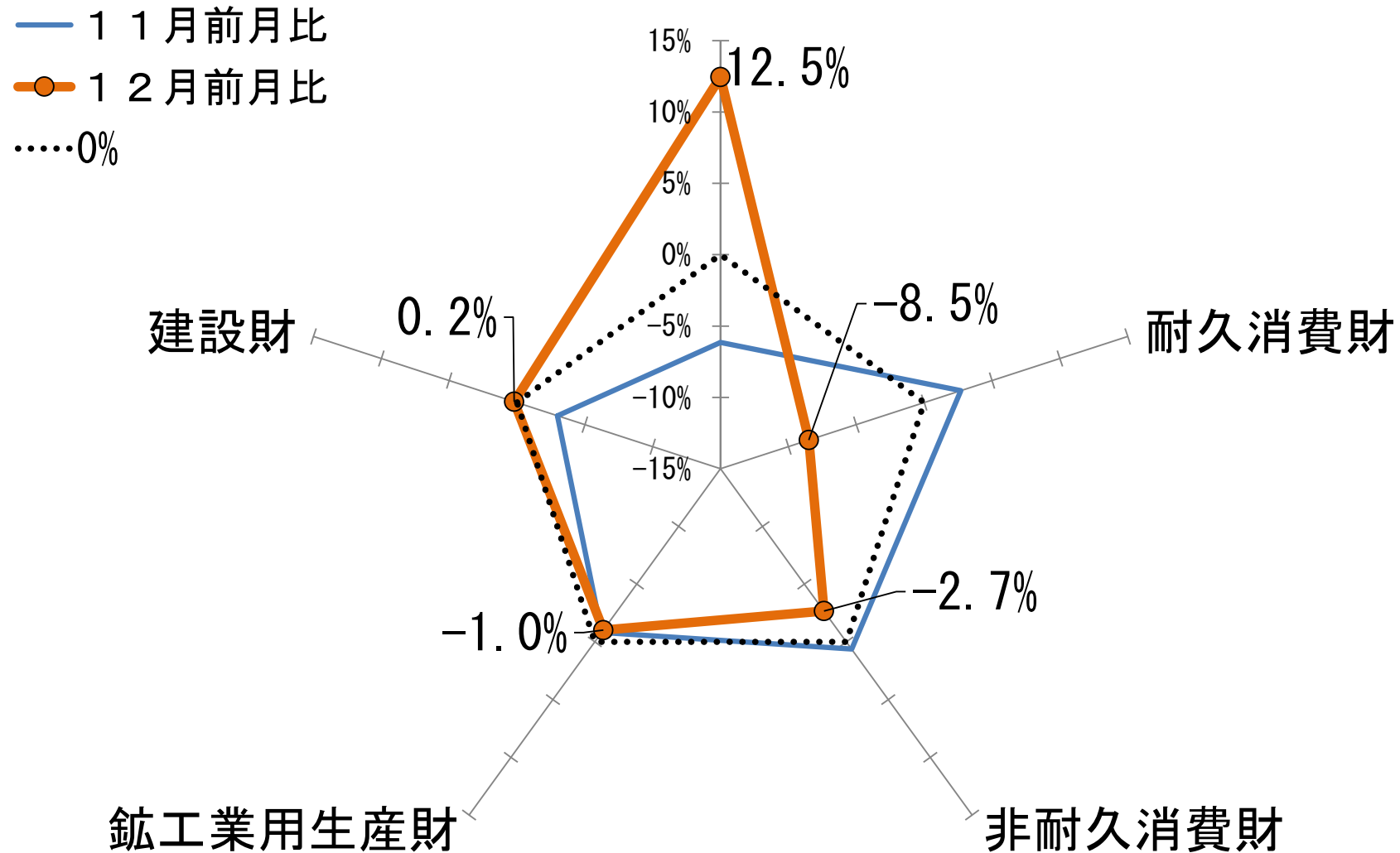
(2015年=100、季節調整済)



(注) 灰色のシャドー部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

財別出荷指数の前月比比較（2019年11月、12月）

資本財(除. 輸送機械)



2019年12月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

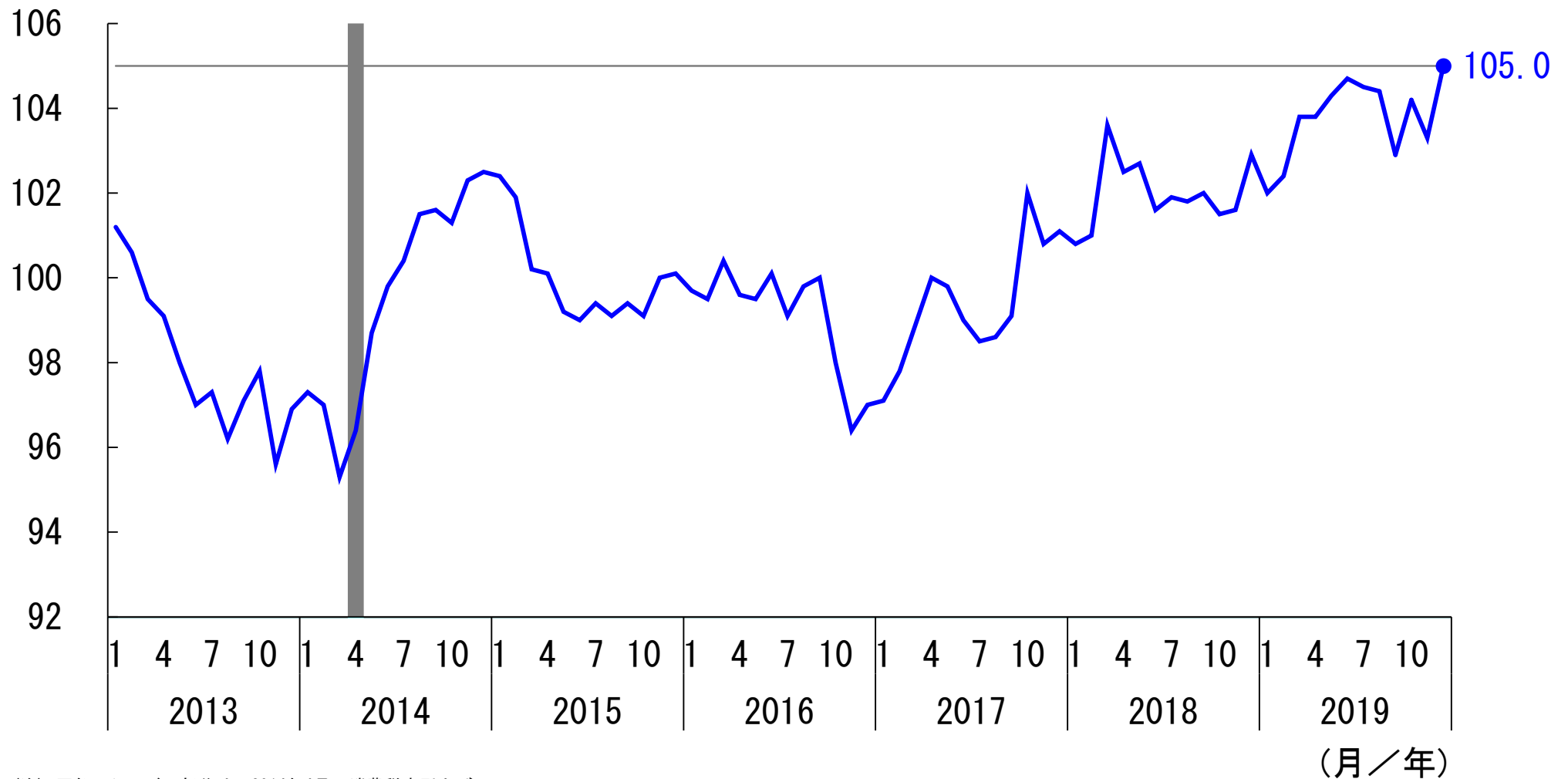
	解説	品目名	前月比	寄与率
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送用）	12.5%	—
		フラットパネル・ディスプレイ 製造装置	137.8%	—
		一般用蒸気タービン	1936.4%	—
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	0.2%	—
		橋りょう	86.9%	—
		普通鋼鋼矢板	27.7%	—
生産財	原材料として投入される製品	生産財	−0.7%	—
		航空機用機体部品	−27.2%	—
		自動車用エンジン	−4.8%	—
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	−2.7%	—
		日焼け止め・日焼け用化粧品	−26.6%	—
		ガソリン	−1.9%	—
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	−8.5%	—
		普通乗用車	−10.6%	—
		軽乗用車	−14.4%	—

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら−100%になる。

鋳工業在庫指数の動向

・ 2019年12月の在庫指数は、105.0(前月比1.6%)と2か月ぶりの上昇。

(2015年=100、季節調整済)

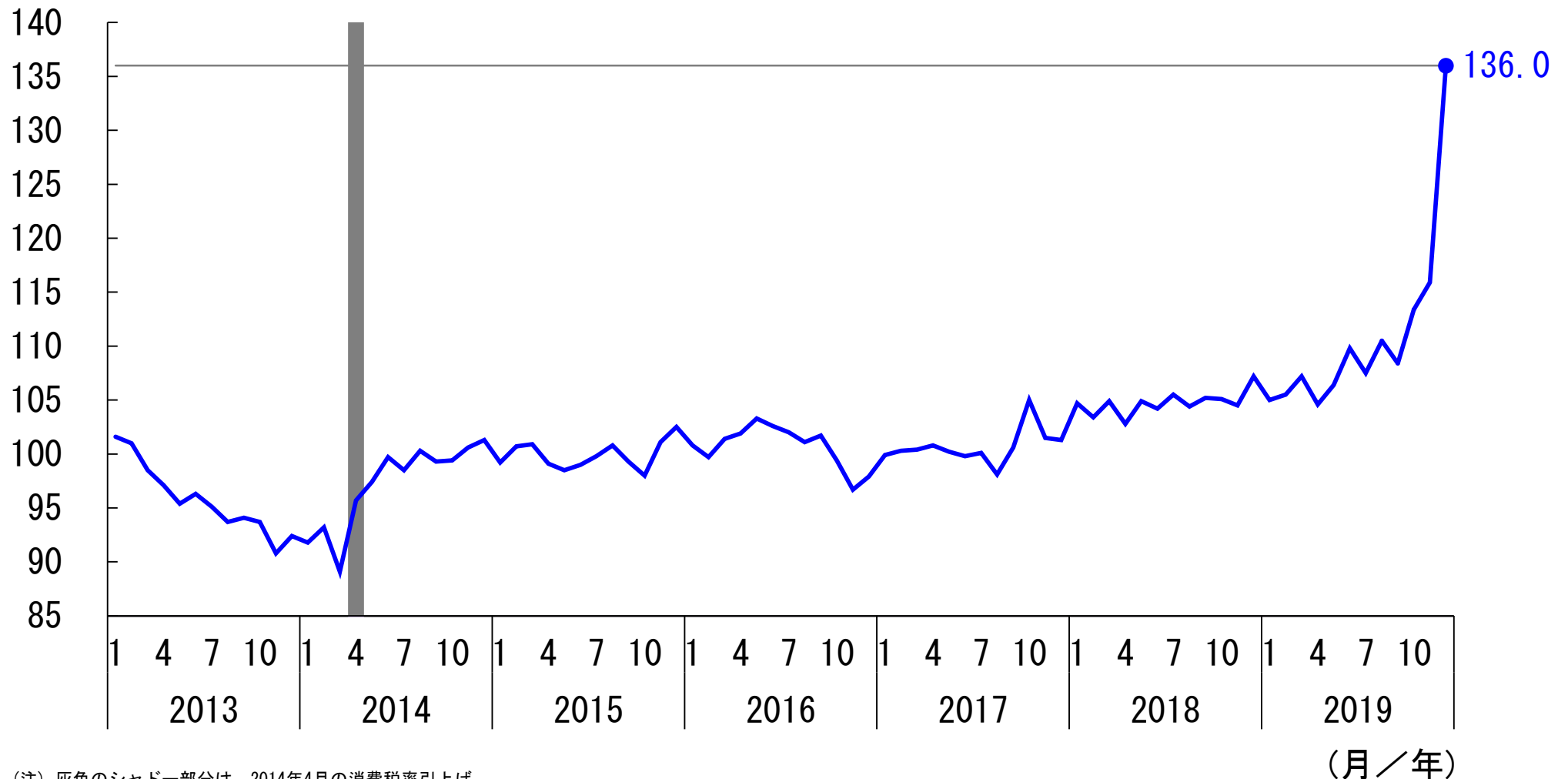


(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

鋳工業在庫率指数の動向

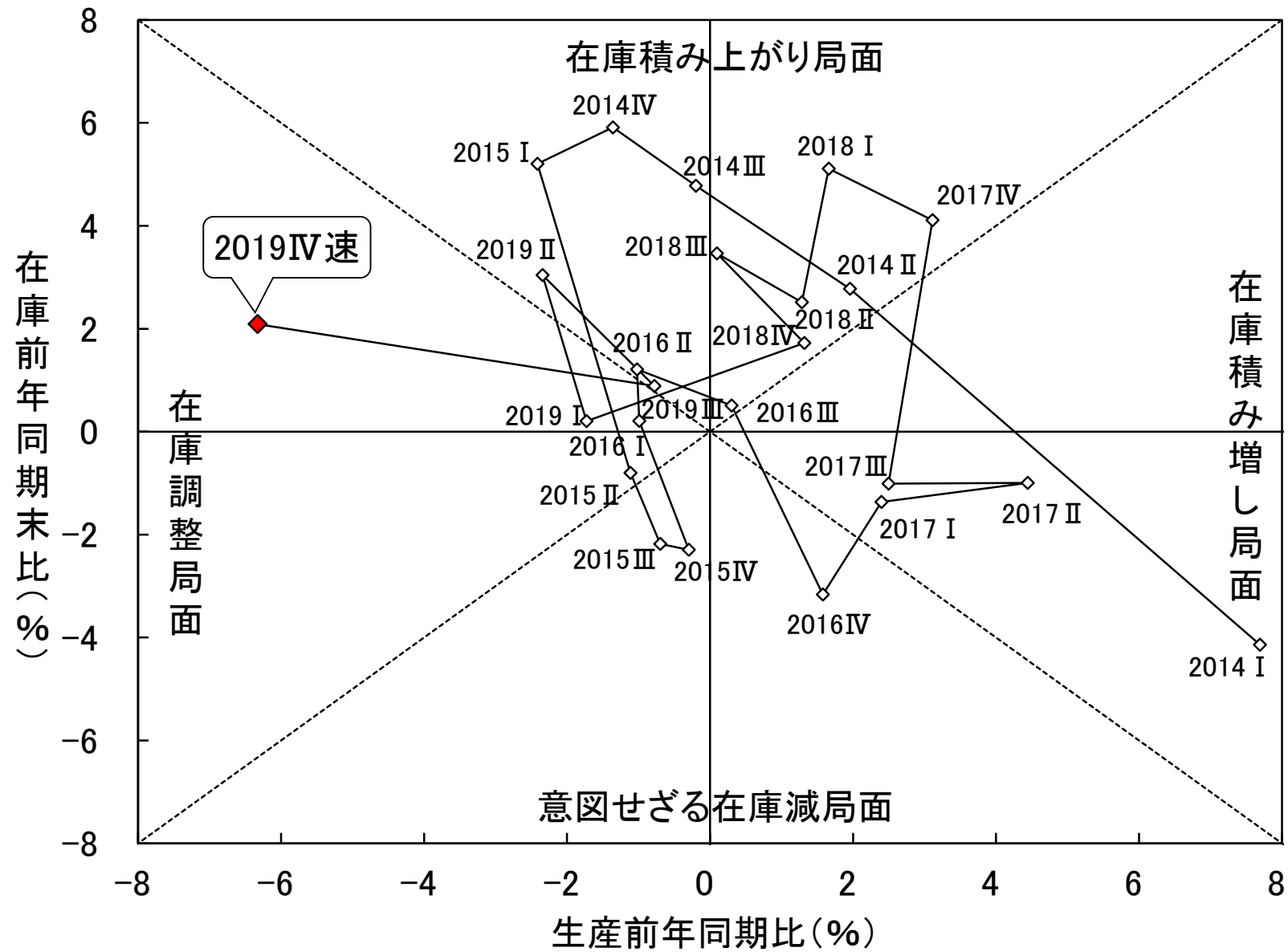
・ 2019年12月の在庫率指数は、136.0(前月比17.3%)と3か月連続の上昇。

(2015年=100、季節調整済)



(注) 灰色のシャド一部分は、2014年4月の消費税率引上げ。

鋳工業の在庫循環図



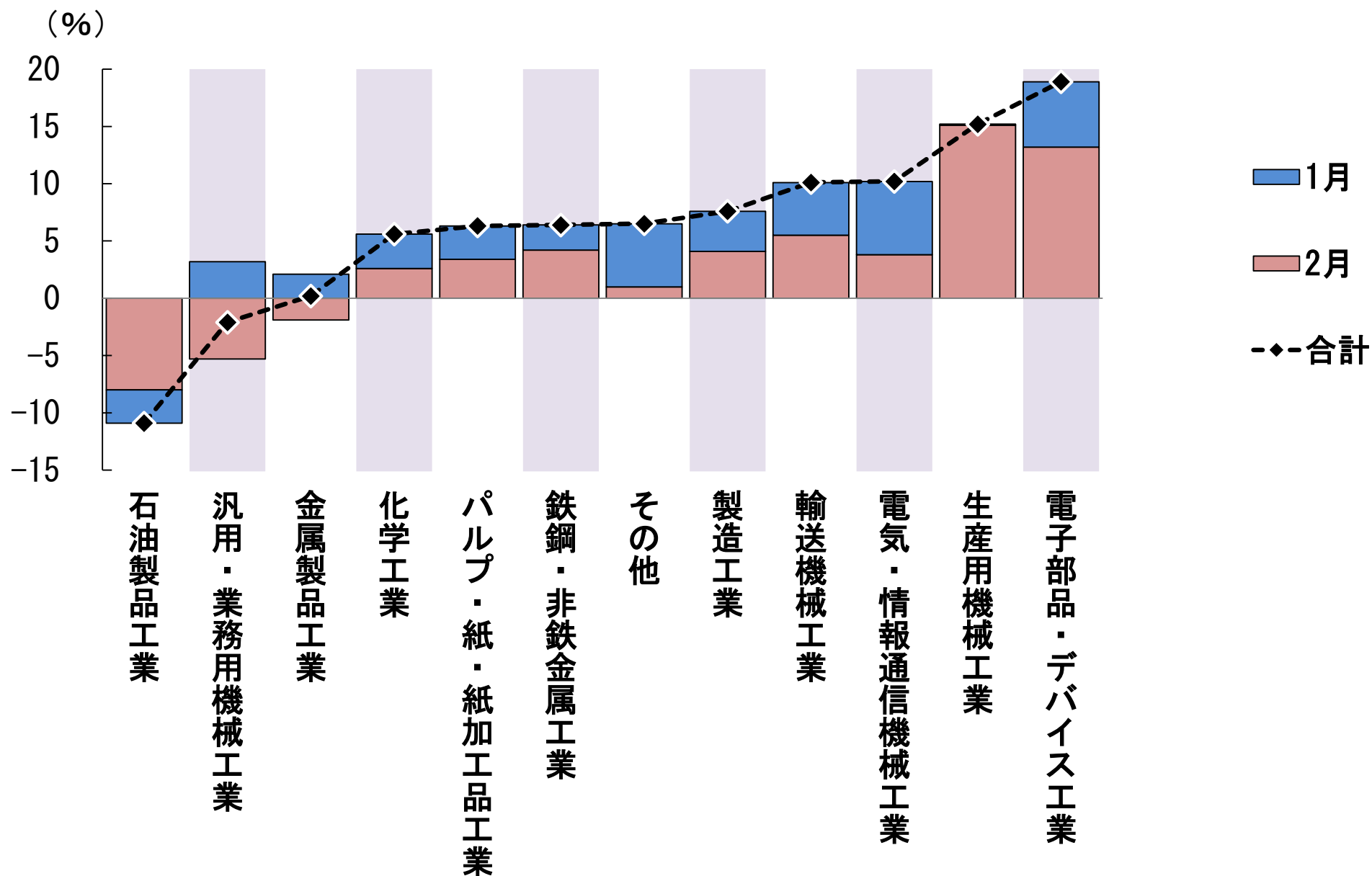
製造工業生産予測指数（季節調整済前月比（％））

	2020年1月見込み	2020年2月見込み
2020年1月調査(今回)	3.5%	4.1%
2019年12月調査(前回)	2.5%	

製造工業生産予測指数の補正值（季節調整済前月比（％））

	補正值	予測調査結果
1月前月比	0.5% (-0.6%～1.5%)	3.5%

2か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



2020年1月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
輸送機械工業	4.6%
電気・情報通信機械工業	6.4%
その他	5.5%
電子部品・デバイス工業	5.7%
化学工業	3.0%
汎用・業務用機械工業	3.2%
鉄鋼・非鉄金属工業	2.2%

上昇寄与業種	計画前月比
金属製品工業	2.1%
パルプ・紙・紙加工品工業	2.9%
生産用機械工業	0.1%
低下寄与業種	計画前月比
石油製品工業	-2.9%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

2020年2月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
生産用機械工業	15.1%
輸送機械工業	5.5%
電子部品・デバイス工業	13.2%
電気・情報通信機械工業	3.8%
化学工業	2.6%
鉄鋼・非鉄金属工業	4.2%
その他	1.0%

上昇寄与業種	計画前月比
パルプ・紙・紙加工品工業	3.4%
低下寄与業種	計画前月比
金属製品工業	-1.9%
石油製品工業	-8.0%
汎用・業務用機械工業	-5.3%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

2019年12月の鉱工業生産の基調判断

「生産は弱含み」

基調判断の推移

- ・2015年8月 「生産は弱含み」
- ・2015年9月～2016年5月 「生産は一進一退」
- ・2016年6月、7月 「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・2016年8月～10月 「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・2016年11月～2017年10月 「生産は持ち直しの動き」
- ・2017年11月、12月 「生産は持ち直している」
- ・2018年1月～6月 「生産は緩やかな持ち直し」
- ・2018年7月～9月 「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」
- ・2018年10月～12月 「生産は緩やかな持ち直し」
- ・2019年1月、2月 「生産は足踏みをしている」
- ・2019年3月 「生産はこのところ弱含み」
- ・2019年4月～7月 「生産は一進一退」
- ・2019年8月、9月 「生産はこのところ弱含み」
- ・2019年10月～ 「生産は弱含み」

2019年10～12月期(速報)各指数の状況 生産・出荷・在庫・在庫率指数

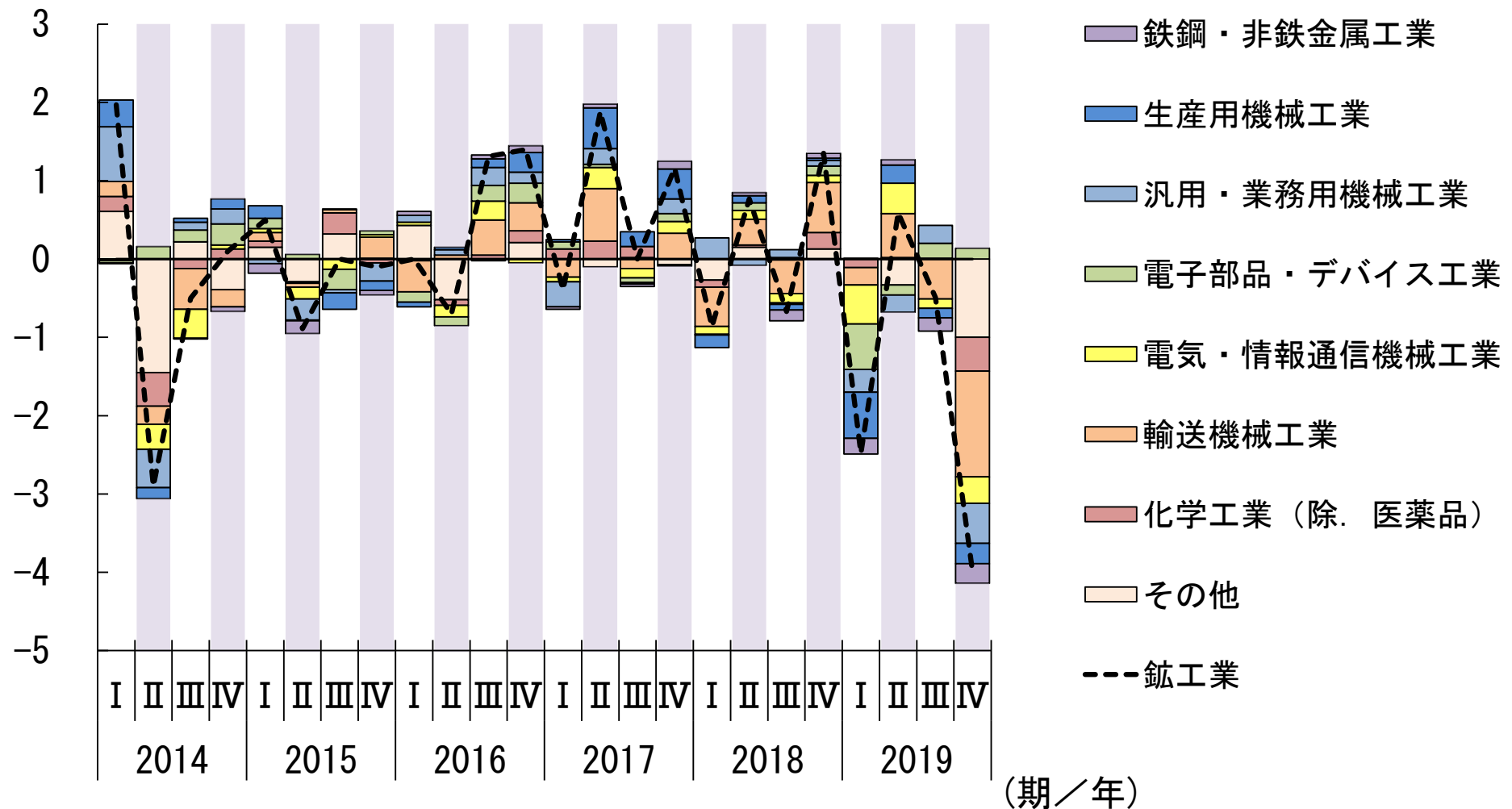
四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	98.4	97.0	105.0	121.8
前期比	-4.0%	-5.0%	2.0%	11.9%
指数水準	2013Ⅱ 98.4以来 (超)2013Ⅰ 96.3以来 ①2013Ⅰ 96.3 ②2013Ⅱ, 2019Ⅳ 98.4 ③2016Ⅱ 99.0	2015年基準最低水準 ①2019Ⅳ 97.0 ②2013Ⅰ 98.0 ③2016Ⅱ 98.8	2015年基準最高水準 Ⅰ2019Ⅳ 105.0 Ⅱ2019Ⅱ 104.7 Ⅲ2019Ⅰ 103.8	2015年基準最高水準 Ⅰ2019Ⅳ 121.8 Ⅱ2019Ⅲ 108.8 Ⅲ2019Ⅱ 106.9
前期比の動き	2期連続－ (2019Ⅲ～当期)	2期連続－ (2019Ⅲ～当期)	2期ぶり＋ (2019Ⅱ以来)	6期連続＋ (2018Ⅲ～当期)
前期比幅	2015年基準最低水準 ①2019Ⅳ -4.0% ②2014Ⅱ -2.9% ③2019Ⅰ -2.5%	2015年基準最低水準 ①2019Ⅳ -5.0% ②2014Ⅱ -4.1% ③2019Ⅰ -2.1%	2018Ⅰ 2.5%以来 Ⅰ2014Ⅱ 4.7% Ⅱ2018Ⅰ 2.5% Ⅲ2017Ⅰ, Ⅳ, 2019Ⅳ 2.0%	2015年基準最高水準 Ⅰ2019Ⅳ 11.9% Ⅱ2014Ⅱ 6.8% Ⅲ2017Ⅳ 3.0%
前年同期比(原指数)	-6.3%(100.7)	-6.2%(99.5)	2.1%(102.6)	15.1%(118.1)
前年同期比の動き	4期連続－ (2019Ⅰ～当期)	4期連続－ (2019Ⅰ～当期)	9期連続＋ (2017Ⅳ～当期)	9期連続＋ (2017Ⅳ～当期)
前年同期比幅	2015年基準最低水準 ①2019Ⅳ -6.3% ②2015Ⅰ -2.4% ③2019Ⅱ -2.3%	2015年基準最低水準 ①2019Ⅳ -6.2% ②2015Ⅰ -2.9% ③2019Ⅱ -2.7%	2019Ⅱ 3.0%以来 Ⅰ2014Ⅳ 5.9% Ⅱ2015Ⅰ 5.2% Ⅲ2018Ⅰ 5.1%	2015年基準最高水準 Ⅰ2019Ⅳ 15.1% Ⅱ2014Ⅳ 9.2% Ⅲ2015Ⅰ 8.9%

1) Ⅰ～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

- 2019年10-12月期の生産指数は、電子部品・デバイス工業が上昇したものの、輸送機械工業等が低下したため、前期比-4.0%の低下。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)



2019年(速報)各指数の状況
生産・出荷・在庫・在庫率指数

年次	生産	出荷	在庫	在庫率
原指数	101.2	100.2	102.6	111.1
前年比	-2.9%	-2.7%	2.1%	6.2%
指数水準	2016 100.0以来 ①2013 99.2 ②2015, 2016 100.0 ③2014, 2019 101.2	2016 99.7以来 ①2016 99.7 ②2015 100.0 ③2019 100.2	2015年基準最高水準 I 2019 102.6 II 2018 100.5 III 2014 100.3	2015年基準最高水準 I 2019 111.1 II 2018 104.6 III 2016 101.0
前年比の動き	4年ぶり- (2015以来)	3年ぶり- (2016以来)	3年連続+ (2017~当年)	2年連続+ (2018~当年)
前年比幅	2015年基準最低水準 ①2019 -2.9% ②2015 -1.2% —	2015年基準最低水準 ①2019 -2.7% ②2015 -1.4% ③2016 -0.3%	2017 4.1%以来 I 2014 5.9% II 2017 4.1% III 2019 2.1%	2015年基準最高水準 I 2019 6.2% II 2018 4.0% III 2015 2.9%

1) I～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数前年比 業種別の影響度合い

- 2019年の生産指数は、生産用機械工業、電子部品・デバイス工業等が低下したため、前年比-2.9%の低下。

(前年比、%、%ポイント)

